

2. 分野別状況 (2) 地域活性化総合特区 ④ 観光・まちづくり分野

|                            | 総合評価<br>(ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算) | Ⅰ   | Ⅱ  | Ⅲ                     | 総合評価に係る専門家所見(主なもの)  |
|----------------------------|-----------------------------|---|--|-----------------------|---|
|                            |                             | 目標に向けた取組の進捗   | 支援措置の活用と地域独自の取組の状況   | 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決 |   |
| ふじのくに防災減災・地域成長モデル総合特区(静岡県) | 4.6                         | 4.7<br>進捗度<br>・防災・減災機能の充実・強化<br>93 %<br>・地域資源を活用した新しい産業の創出・集積<br>114 %<br>・新しいライフスタイルの実現の場の創出<br>103 %<br>・暮らしを支える基盤の整備<br>97 % | 4.4<br>規制の特例等<br>・6次産業化の推進に関する優遇措置の適用要件の緩和 等<br>財政支援等<br>・「食と農」のアンテナエリア形成事業<br>・総合特区支援利子補給金 等<br>地域独自の取組<br>・地震・津波対策等減災交付金(財政支援)<br>・新規産業立地事業費助成(財政支援) 等 | 4.7                   | <p>・日本の社会課題である防災・減災機能の充実強化、持続的な成長を目指すまちづくりの先駆的モデルとして、全般に各種取組の着実な進捗が見られる点は大いに評価できる。</p> <p>・新しい産業創出について、コロナ後の活動活発化の一方で、燃料・資源の高騰、円安の進行など新規産業の立地や創出には厳しい状況となっている中、新成長産業や6次産業化の取組件数が増加している点が評価できる。</p> <p>・新東名高速道路の整備に合わせた産業基盤、生活ネットワークの整備等については、各種支援を活用しながら順調に進展しているが、本構想の目標の一つ「新しいライフスタイルの実現」については、やはり既存市街地の再編や、住民の働き方・住まい方といった個々の意識が関わってくることから、その実現には時間を要すると考える。より多方面の分野と連携しながら、望まれるライフスタイル、あるべきライフスタイルの実現に向けて取組を進めることが望ましい。</p> <p>・太陽光発電導入の促進は、脱炭素の動きとも関連して取組成果が期待される分野であり、導入促進の進捗とともに、導入後の評価や課題抽出も行っていたいただきたい。</p> <p>・県内全域を対象として様々な取組を進めているが、「県土の均衡ある発展」という大きな目的の下、各種取組の波及効果が県土のどの範囲に及び得るかというバランスの検討と、他方で意欲ある実施主体による取組を先導的モデルとして支援する、という2つの点を考慮しながら引き続き推進していただきたい。</p> |